

仙台市働く女性の活躍推進事業【仙台市】

地域の実情と課題

- ・女性の有業率が低く、M字カーブの谷が深い
- ・全国平均と比較して性別役割分担意識が強い
- ・女性管理職比率が全国平均や他の政令指定都市と比較して著しく低い

事業の特徴

- ・ワーク・ライフ・バランス推進の機運の醸成に向けた、企業を対象とした集中的な事業展開
- ・多様な主体との連携の下、短期集中的に女性の人材育成を進め、地域の女性人材プールを拡充

事業の効果

- ・協議会開催による女性活躍推進事業の効果的かつ円滑な実施
- ・女性の活躍推進に取り組む企業への効果的なサポート
- ・企業のダイバーシティ経営の推進による地域経済活性化

目的・目標

ワーク・ライフ・バランス推進の機運の醸成と地域の女性人材プールの拡充を目指す

- | | | |
|----------------|---------------|--------|
| ・女性管理職候補育成 | 【目標】5年間で | 145名 |
| | 【実績】R2年度計 | 32名 |
| ・働く女性向けの事業参加者数 | 【目標】5年間で | 2,000名 |
| | 【実績】H27～R元年度計 | 2,740名 |

連携団体

「仙台市働く女性の活躍推進協議会」

【構成団体】

(一社)宮城県経営者協会、(株)七十七銀行、
(株)日本政策金融公庫仙台支店、
(公財)せんだい男女共同参画財団、仙台経済同友会、
仙台商工会議所、東北経済産業局、
宮城県中小企業団体中央会、宮城労働局、仙台市

今後の課題

本市は中小企業の割合が高く、個々の企業による自主的な取り組みには限界があるため、引き続き地域の経済団体や関係行政機関と連携・協力しながら、地元企業のニーズに合った事業展開を進める必要がある

事業の概要

企業における女性管理職・役員候補育成

●企業の未来プロジェクト

①女性管理職候補育成プログラムの受講(参加企業:20社)
受講者数:20人

- ・ プロジェクト参加企業から推薦された女性1名を対象とした研修プログラム
- ・ 職場のリーダーに求められるスキルを、全9日間のプログラムで学びと実践を重ねながら体系的に修得
- ・ 修了後も活用できる受講者同士の異業種ネットワークの形成



②女性上級管理職候補育成プログラムの受講(参加企業:12社)
受講者数:12人

- ・ 令和2年度新設。隔年実施
- ・ プロジェクト参加企業から推薦された女性1名を対象とした研修プログラム
- ・ 経営者目線で考えられる人材を、全6日間のプログラムで学びと実践を重ねながら体系的に修得



③ワーク・ライフ・バランス、セクハラ・パワハラ対策などの社内研修への講師派遣

④働く女性対象セミナー等の優先受講

⑤女性活躍推進に関する各種相談

仙台市働く女性の活躍推進協議会

●関係機関相互の情報共有・意見交換

●関係機関のイベント等への相互の名義後援・広報への協力